

MBT活動紹介

(3) IoTサテライト拠点による”生涯活躍”推進事業

凸版印刷(株)：矢尾雅義

提案者	凸版印刷株式会社、大和ハウス工業株式会社、奈良県立医科大学、株式会社情報医療、株式会社エクスレイヤー、三木市、一般社団法人三木市生涯活躍のまち推進機構
対象分野	医療・福祉
実施地域	兵庫県 三木市 緑が丘地区・青山地区
事業概要	本事業は高齢化の進展を先取りする「緑が丘団地」において、最も罹患人数が多く、かつ医療費に占める比率が高い「高血圧性疾患」の緩和・緩解・完治をテーマとし、血圧、活動量、服薬状況、気圧等の血圧に影響するデータをIoTで網羅的かつ継続的に取得し、ビッグデータに基づくAI分析を行うことで、その結果を医師による遠隔診療やサテライトでの保健指導に活用し、患者一人ひとりに寄り添った適切かつ継続的な高血圧性疾患対策を行う事業である。

地域課題(問題点)

医療費等社会保障費の高騰

三木市の高血圧の医療費(外来)は4億円と高額
市の医療費の圧迫の見込み

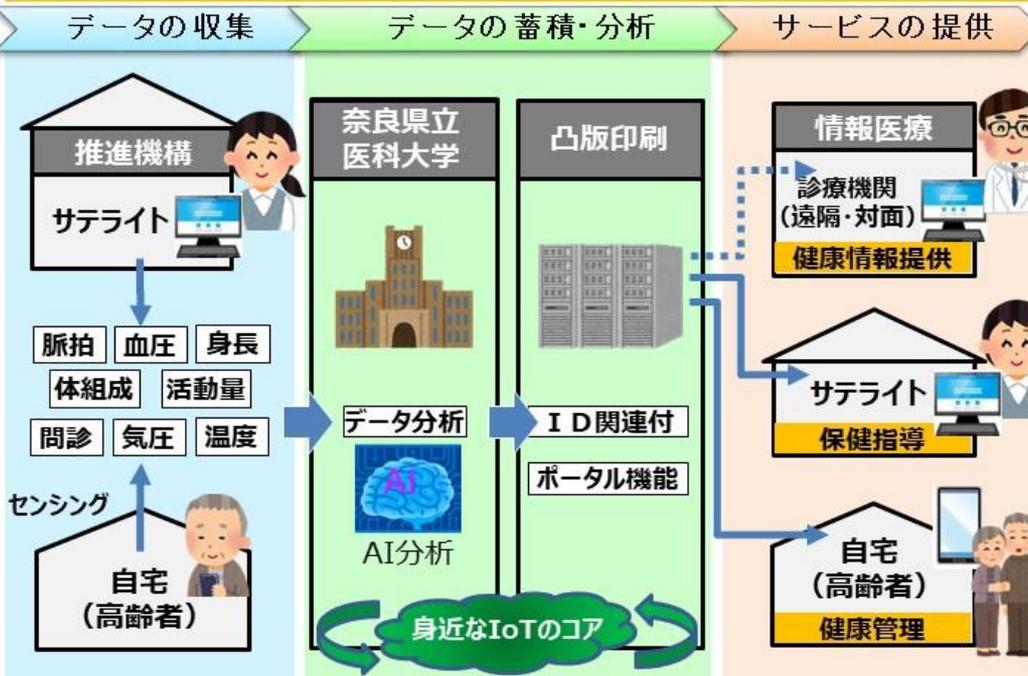
高血圧症の重症化

疾病割合は高血圧症患者が最多、治療継続率45%と低く、重大な合併症を引き起こす恐れも

健康無関心層の増大

三木市の特定健診受診率は23.4%と低く、住民の健康に対する意識が低い

地域課題解決に資するIoTサービス



実証成果(KPI)

長期目標 高血圧症重症化予防による医療コストの削減

重症化予防を図り、市の医療財政を2030年までに年間2.3億円削減を目指す

年度目標 適切かつ継続的な高血圧症対策の実施

IoTサービス・サテライト・遠隔診療を活用しモニターの治療継続率80%以上を目指す
(目標:平均血圧値を5mmHg以上低減)

年度目標 住民の健康意識の向上と行動変容

モニターの健康意識向上の指標として特定健診受診率を23.4%⇒30.0%に改善することを目指す